



春日部市 水の官民連携 マーケットサウンディング調査説明会

令和8年8月18日
春日部市上下水道部

目次

- 1 本説明会の趣旨
- 2 「水の官民連携」の概要
- 3 春日部市における上下水道事業の現状と課題
- 4 事業スキーム（案）の説明
- 5 今後の進め方
- 6 アンケート調査へのご協力のお願い

目次

1

本説明会の趣旨

2

「水の官民連携」の概要

3

春日部市における上下水道事業の現状と課題

4

事業スキーム（案）の説明

5

今後の進め方

6

アンケート調査へのご協力をお願い

1

本説明会の趣旨

- マーケットサウンディング調査は、事業参画意欲を把握するとともに、参画しやすい公募条件の検討を行うために実施します。
- 本説明会では、本市が導入を検討している「水の官民連携」について、マーケットサウンディング調査に先立ち、民間事業者の皆様に情報提供を行うことが目的です。

目次

1

本説明会の趣旨

2

「水の官民連携」の概要

3

春日部市における上下水道事業の現状と課題

4

事業スキーム（案）の説明

5

今後の進め方

6

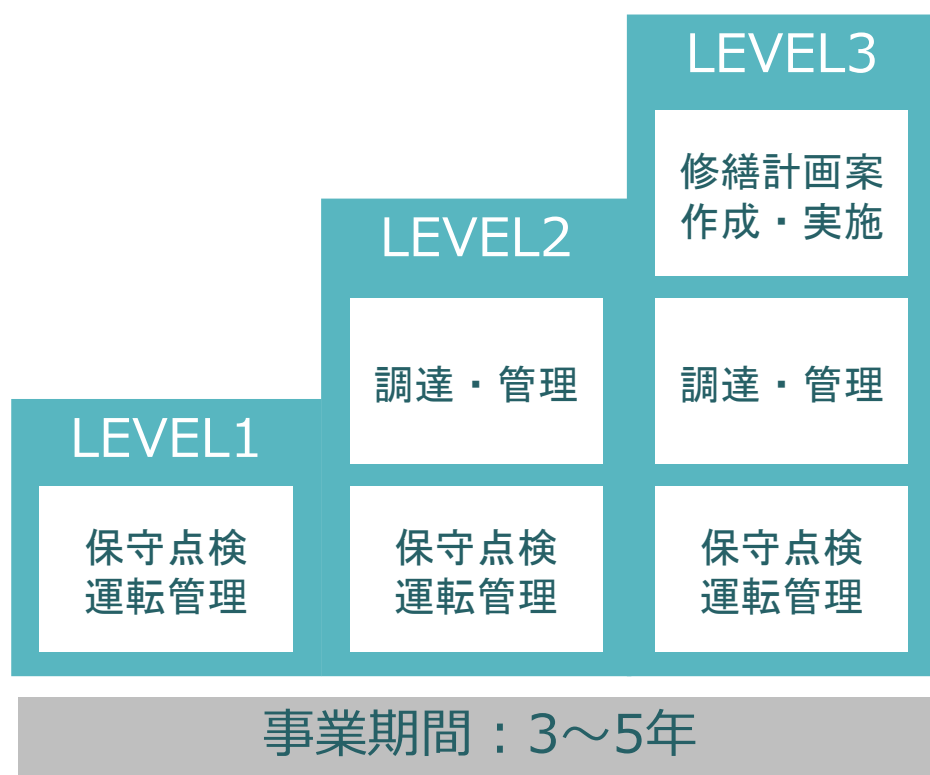
アンケート調査へのご協力のお願い

2

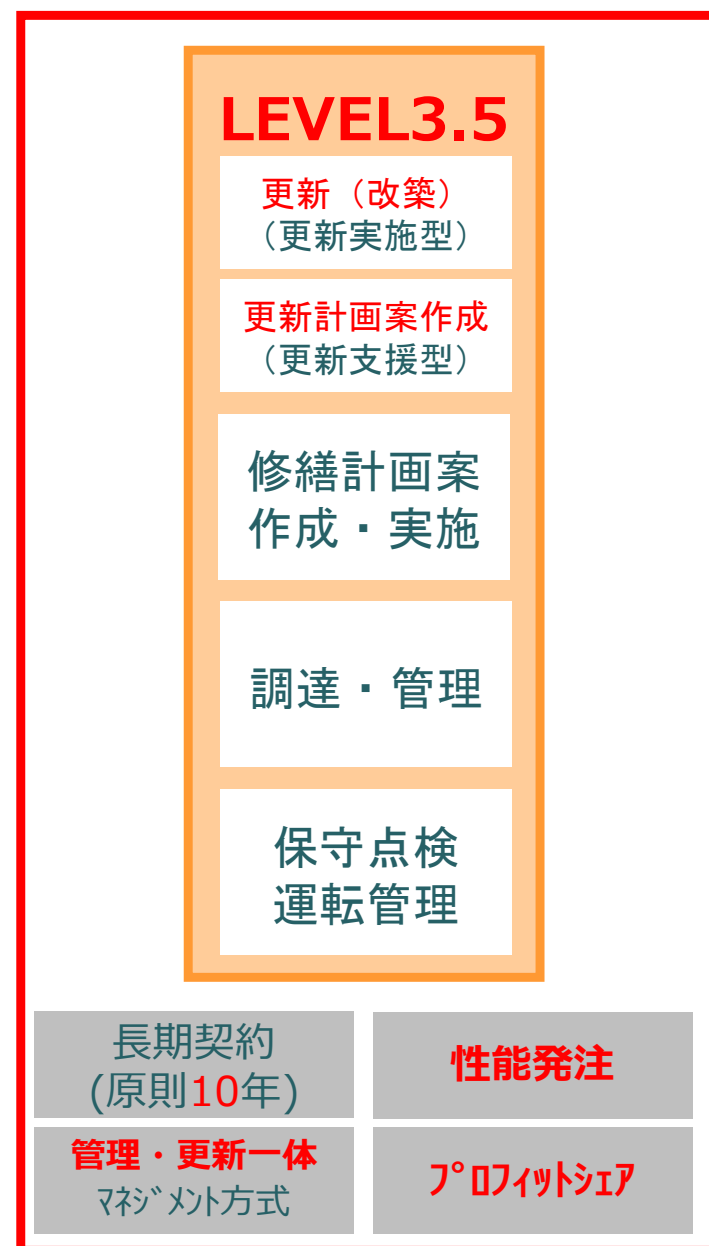
「水の官民連携」の概要

○ 水の官民連携とは

官民が協力して上下水道を守る、
新たな官民連携の形態



従来の包括的民間委託

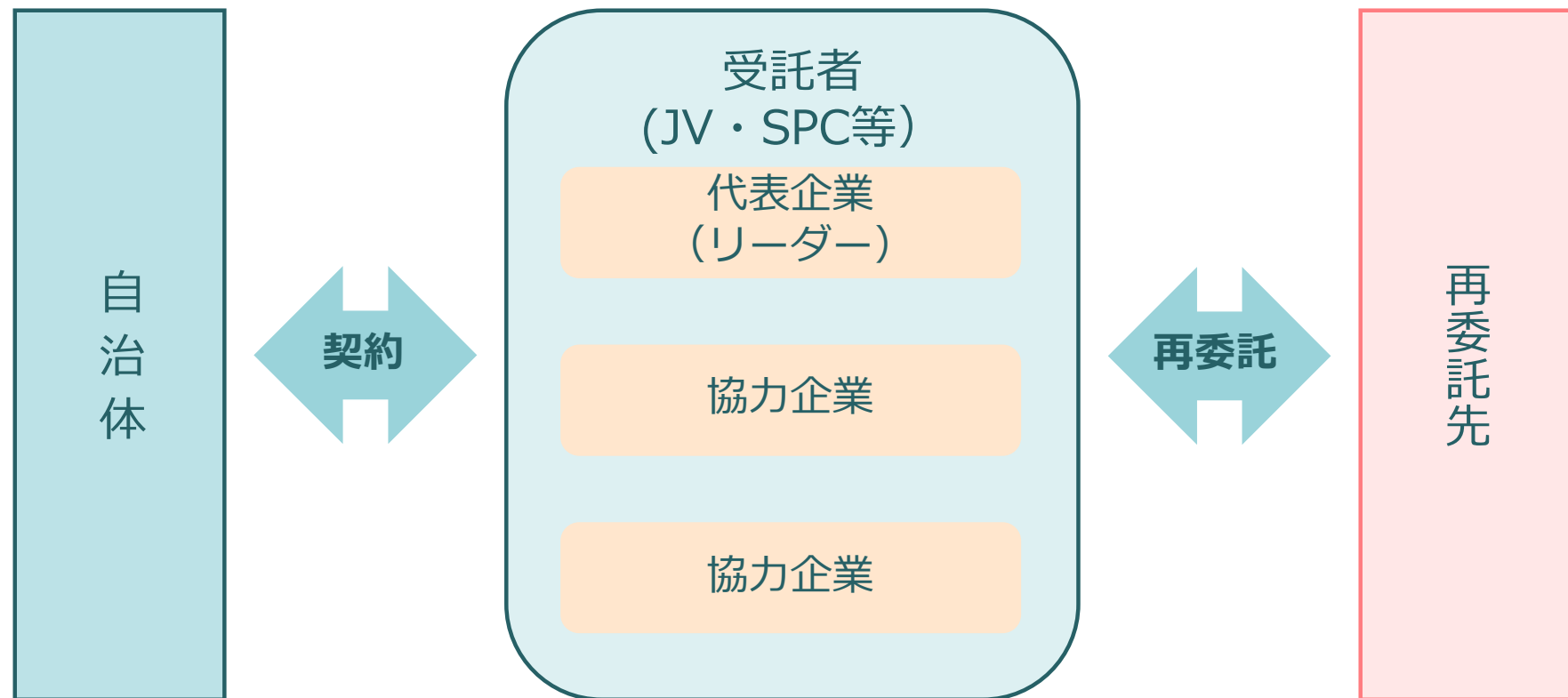


「水の官民連携」

2

「水の官民連携」の概要

○ 「水の官民連携」における業務形態（イメージ）



2

「水の官民連携」の概要

○ 「レベル3.5（管理・更新一体マネジメント方式）」の4要件

- レベル3.5は、①長期契約（原則10年）、②性能発注、③維持管理と更新の一体マネジメント、④プロフィットシェアの4要件を全て充足する必要がある。



①
長期契約
(原則10年)

長期の事業期間により
民間事業者の参画意欲を
促進
安定した雇用や人材育成
に貢献



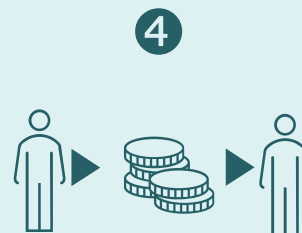
②
性能発注

民間のノウハウ・創意工夫
が発揮しやすいよう満たす
べきサービス水準を定め
発注



③
維持管理と更新の
一体マネジメント

「更新実施型」
維持管理と更新(改築)
工事を一体的に実施する
「更新支援型」
維持管理と更新計画案の
策定により更新を支援する



④
プロフィットシェア

事業開始後も民間事業
者によるライフサイクルコスト
縮減の提案を促進

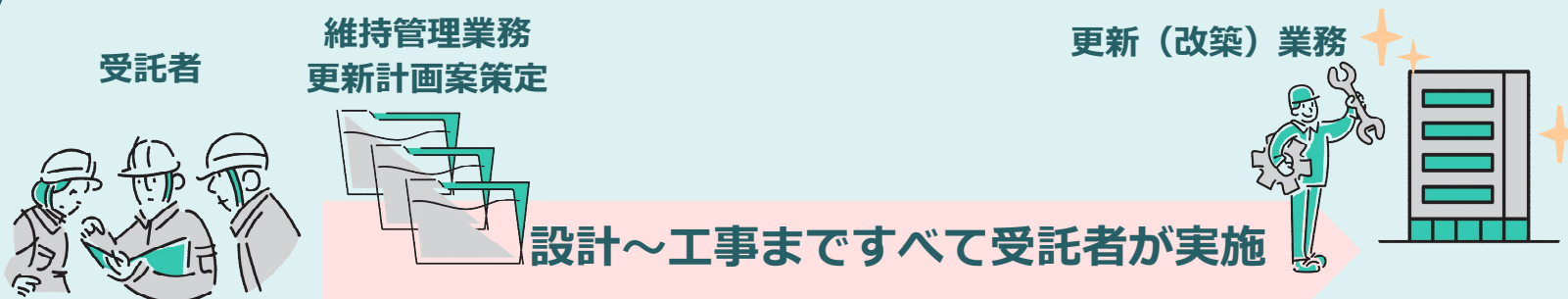
2

「水の官民連携」の概要

○ 「更新実施型」と「更新支援型」のイメージ

- 「更新実施型」：計画段階から施工まで委託者に一括で委託。
- 「更新支援型」：計画段階までを受託者が担当。発注は自治体が行う。

更新実施型



更新支援型



目次

1

本説明会の趣旨

2

「水の官民連携」の概要

3

春日部市における上下水道事業の現状と課題

4

事業スキーム（案）の説明

5

今後の進め方

6

アンケート調査へのご協力をお願い

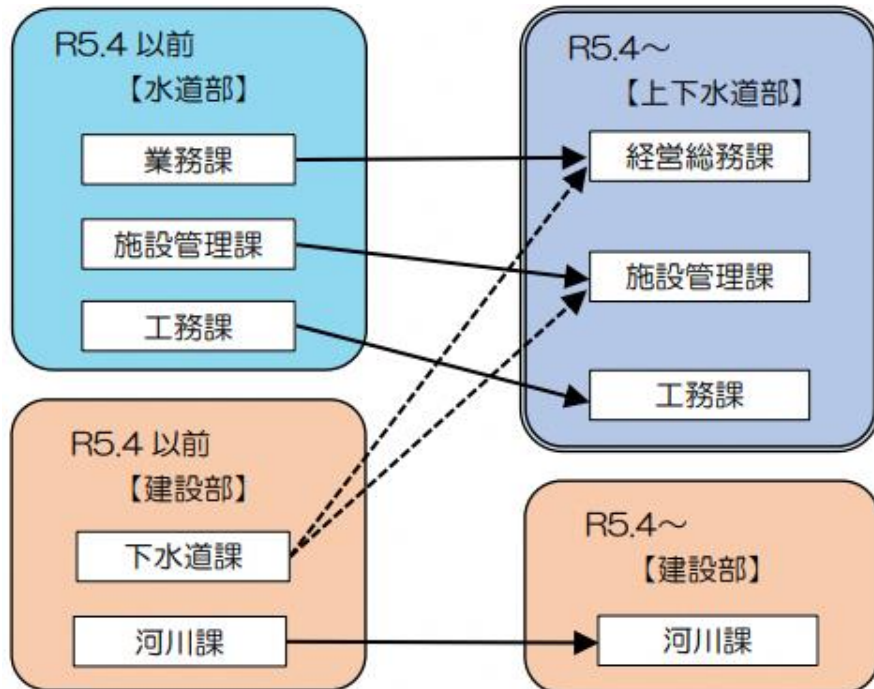
3

春日部市における上下水道事業の現状と課題

○ 春日部市の上下水道事業運営体制

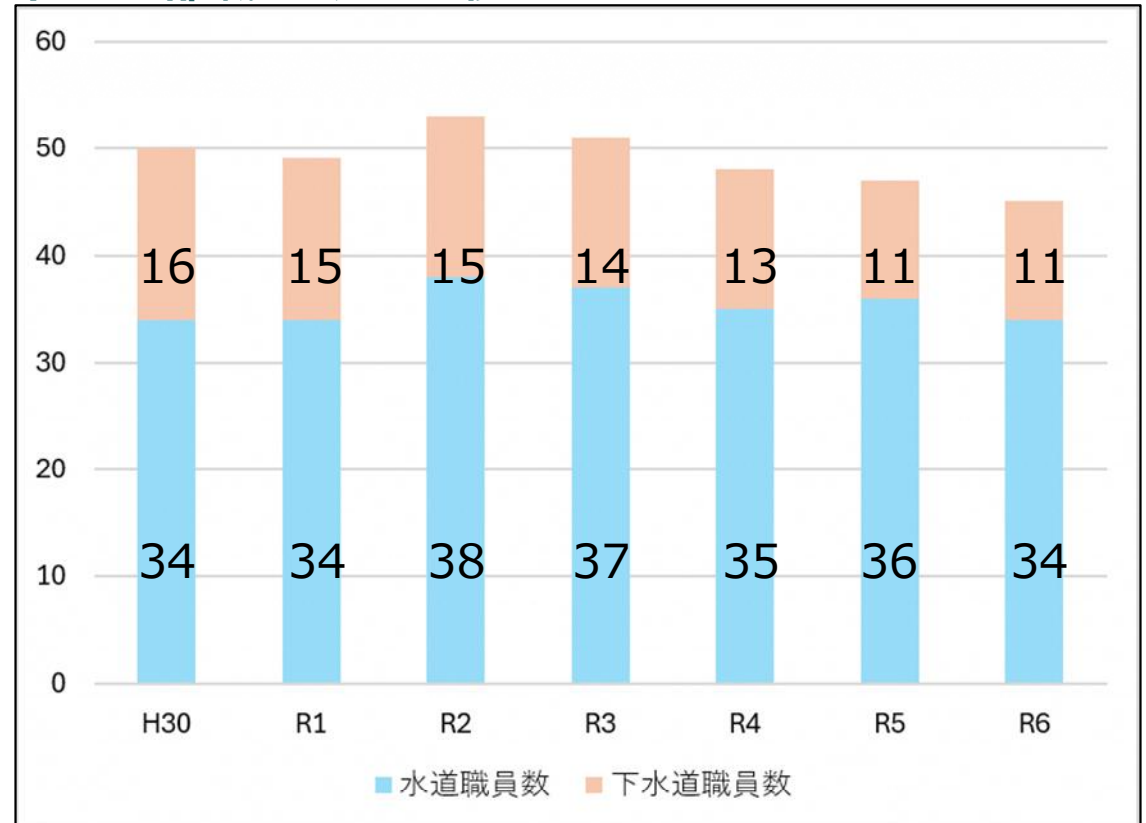
- 上下水道部について、ピーク時の令和2年度：53人と比較すると、令和6年度時点で45人と減っているが、外部委託により業務の効率化に取り組んでいる。
- 上下水道事業については、水道部（3課）、建設部（2課）として運営を行っていたが、組織体制の効率化を図るため、令和5年（2023年）に水道部と建設部下水道課を統合し、効率的な組織運営に取り組んでいる。

春日部市の組織の変遷



出典）春日部市新水道事業ビジョン（経営戦略）改定版
/令和8年3月/一部編集
春日部市下水道事業経営戦略改定版/令和8年3月

上下水道部職員数の推移



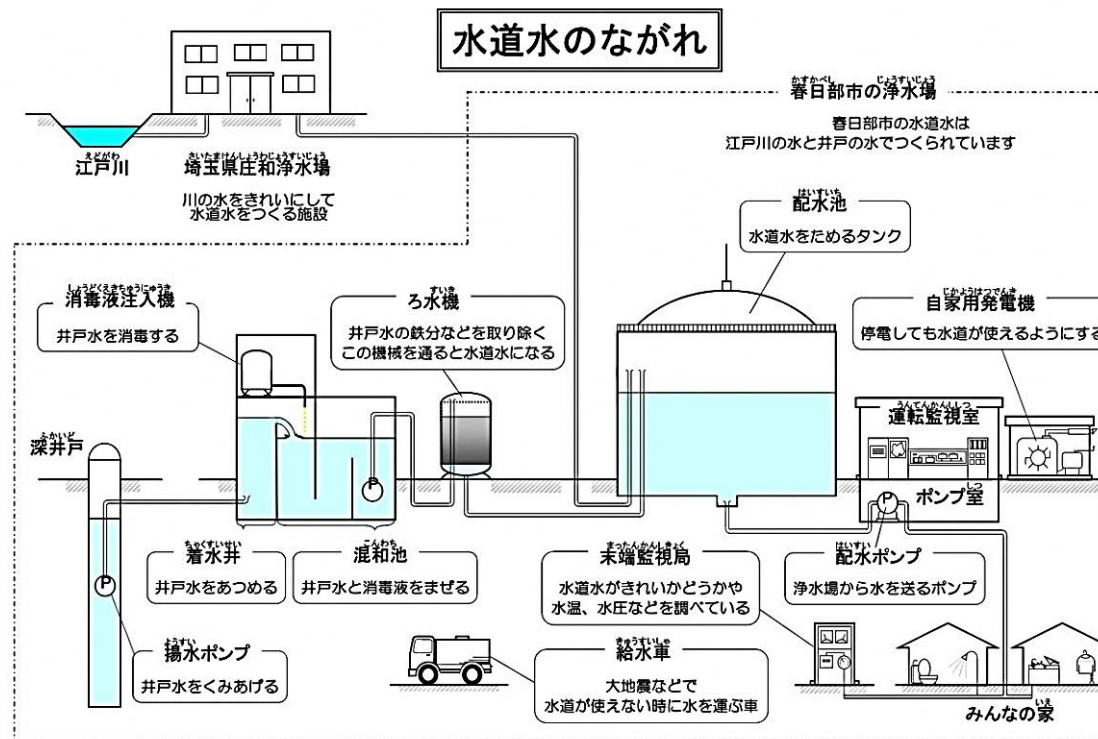
3

春日部市における上下水道事業の現状と課題

○ 春日部市の水道事業概要

- 水源は利根川水系江戸川の河川水（埼玉県用水供給事業）が90%、深井戸の井戸水が10%。
- 井戸水は市の浄水場で浄水処理した後、県水と混合して各家庭へ供給。

水道水の流れ



3

春日部市における上下水道事業の現状と課題

○ 春日部市の水道施設概要(浄水場)

- 5箇所の浄水場を保有している。
- 水質や維持管理、経営への影響等を考慮し、今後水源を県水のみとすることを検討している。
- 施設のダウンサイジングの一環として、令和9年度（2027年度）に南部浄水場を廃止することを目標としている。
- 今後10年間では、設備をグループごとにまとめて集中的かつ効率的に更新を実施する予定。
- 急所施設である浄水場や配水池について、耐震化を進めている。

施設位置図



各浄水場で更新を予定している施設・設備

東部浄水場	西部浄水場
- 配水池 - 管理等 - ポンプ設備 - 受変電設備 - 自家発電設備 - 動力設備 - 監視制御設備	- 受変電設備 (更新中) - 動力設備 (更新中)
北部浄水場	庄和浄水場
計画期間中の主要な設備更新無し	- 受変電設備 - 自家発電設備 - 動力設備

3

春日部市における上下水道事業の現状と課題

○ 春日部市の水道施設概要(管路)

- 導水管や送水管、配水管の総延長は、令和6年度(2024年度)末現在で約842kmとなっている。
- 管路施設について、法定耐用年数超過管路率は44.3%と近隣事業体を大きく上回っている。
- 管路の耐震化率は23.7%と近隣事業体を下回っており、近年有収率も90%を下回っている。

口径別延長

口径 [mm]	導水管		送水管		配水管		合計	
50未満					29,629	3.6%	29,629	3.5%
50					75,460	9.2%	75,460	9.0%
75	4	0.0%	3	0.0%	175,684	21.5%	175,691	20.8%
100			8	0.1%	264,937	32.4%	264,945	31.4%
125	4	0.0%			61	0.0%	65	0.0%
150	425	3.7%	3	0.0%	136,528	16.7%	136,956	16.3%
200	6,003	53.1%	33	0.3%	58,734	7.2%	64,770	7.7%
250	4,829	42.6%	44	0.4%	32,663	4.0%	37,536	4.5%
300	71	0.6%	44	0.4%	29,145	3.6%	29,260	3.5%
350					3,487	0.4%	3,487	0.4%
400			12,362	98.8%	7,769	0.9%	20,131	2.4%
450						0.0%	0	0.0%
500					3,356	0.4%	3,356	0.4%
600					633	0.1%	633	0.1%
不明					56	0.0%	56	0.0%
合計	11,336		12,497		818,142		841,975	

水道施設の業務指標

名称	令和4 2022	令和5 2023	令和6 2024	近隣 事業体 平均値
施設利用率 (%)	65.8	66.1	65.6	76.2
最大稼働率 (%)	74.1	74.0	72.4	82.3
浄水施設の耐震化率 (%)	72.5	72.5	72.5	17.8
配水池の耐震化率 (%)	79.8	79.8	79.8	52.0
法定耐用年数超過管路率 (%)	42.3	43.4	44.3	14.2
管路の耐震化率 (%)	27.4	28.0	23.7	38.7
有収率 (%)	91.3	89.8	89.9	92.9

※ 近隣事業体はさいたま市、草加市、久喜市、
越谷・松伏水道企業団、上尾市としている

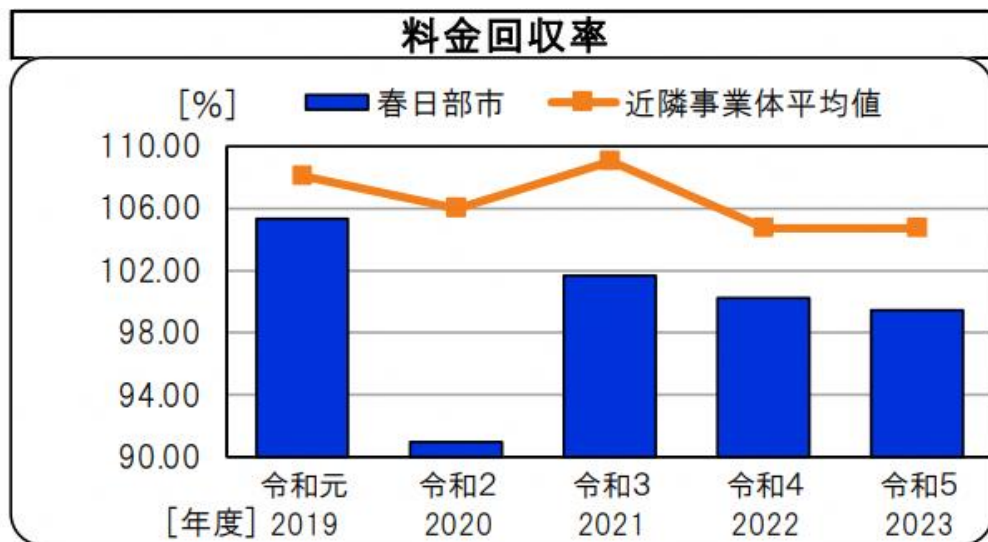
3

春日部市における上下水道事業の現状と課題

○ 春日部市の水道事業の経営状況

- 料金回収率は令和5年（2023年）に100%を下回っている。
- 人口減少等の影響で使用水量が減少し収入源、物価高騰等の影響により営業費用の増加。
→令和3年（2021年）以降営業利益はマイナスに転じている。
- 令和8年10月1日より水道料金改定の予定。

料金回収率の推移



	令和元(2019)	令和2(2020)	令和3(2021)	令和4(2022)	令和5(2023)
春日部市	105.27	90.94	101.70	100.14	99.46
近隣事業体 平均値	108.07	105.91	108.93	104.72	104.74

収益的収支及び営業収益の推移



単位: 億円(税抜)

項目\年度	令和2(2020)	令和3(2021)	令和4(2022)	令和5(2023)	令和6(2024)	備考
収益的収入	43.17	42.05	41.76	41.31	41.22	①
収益的支出	40.54	39.74	39.26	39.77	40.76	②
純利益	2.63	2.32	2.49	1.54	0.46	①-②
営業収益	39.14	38.23	37.37	37.48	37.35	③
営業費用	39.11	38.74	38.35	38.66	39.91	④
営業利益	0.03	-0.51	-0.98	-1.18	-2.56	③-④

3

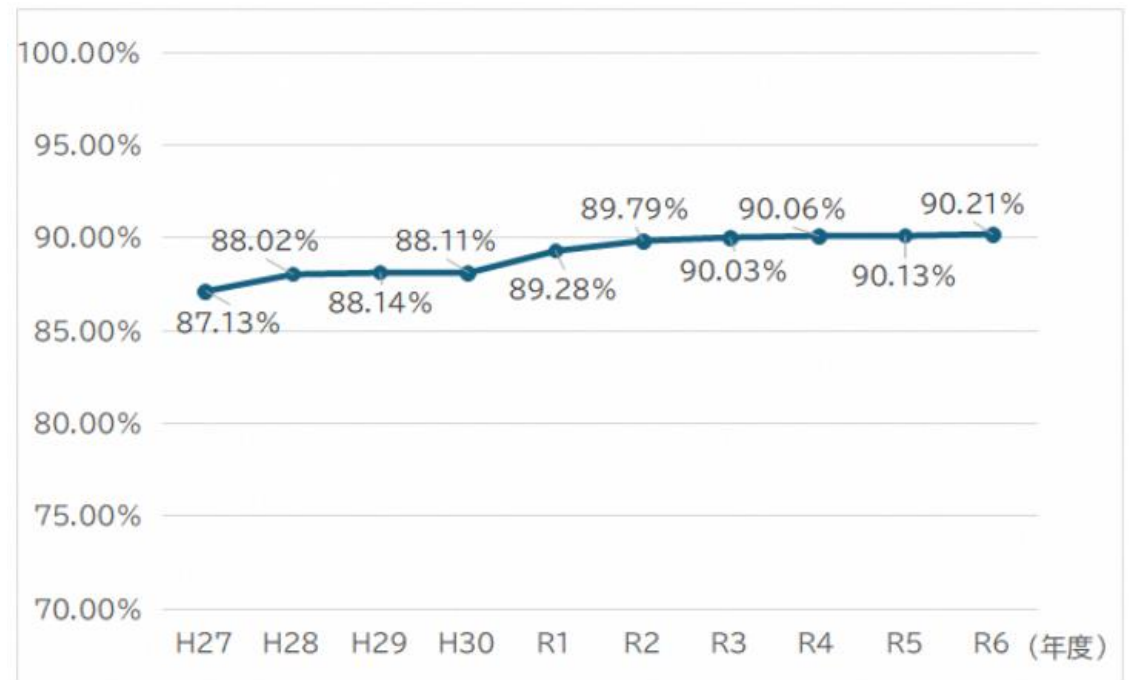
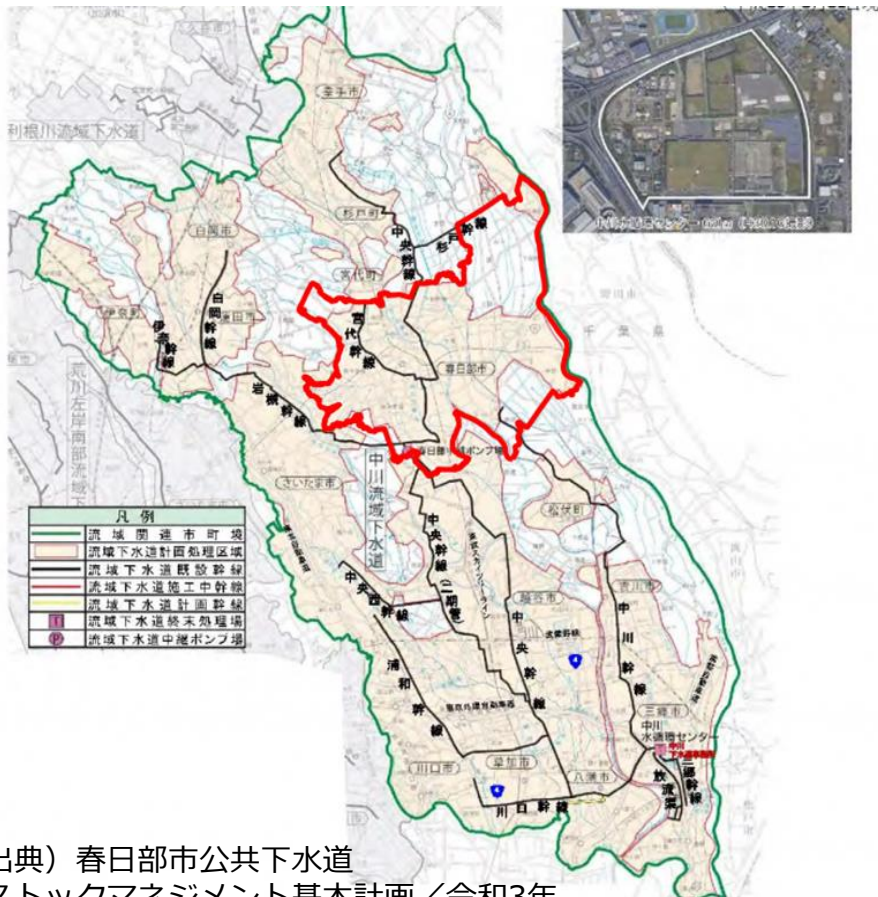
春日部市における上下水道事業の現状と課題

○ 春日部市の下水道事業概要（污水）

- 昭和62年（1987年）に供用開始し、11地区の処理分区を有している。
- 市内に処理場は無く、広域化・共同化の一環で中川流域下水道に接続している。
- 汚水処理の人口普及率は90.21%となっている。

中川流域下水道・春日部市の位置図

汚水処理人口普及率の推移



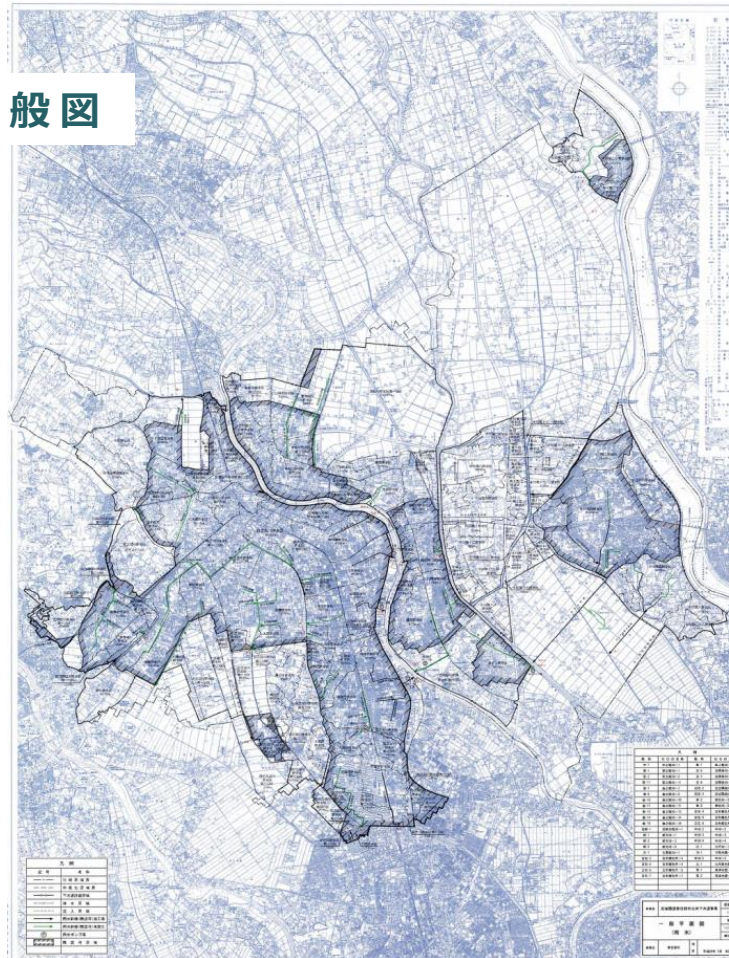
3

春日部市における上下水道事業の現状と課題

○ 春日部市の下水道事業概要（雨水）

- 平成19年(2007年)に排水区域約2,218.1haの事業認可を受けて整備を推進している。
- 令和8年(2026年)時点で、300.1ha整備されている。（整備率：13.5%）
- 「100mm/h安心プラン」・「中川・綾瀬川緊急流域治水プロジェクト」の推進等により浸水被害等の軽減を進めている。

雨水計画一般図



出典) 春日部市公共下水道
ストックマネジメント基本計画
/令和3年

3

春日部市における上下水道事業の現状と課題

○ 春日部市の下水道施設概要（ポンプ場）

- ポンプ場は、汚水中継ポンプ場が2箇所、雨水ポンプ場が8箇所整備されている。
- スtockマネジメント計画に基づき、計画的な施設の更新や耐震化、耐水化を実施する必要がある。

主要施設の位置図



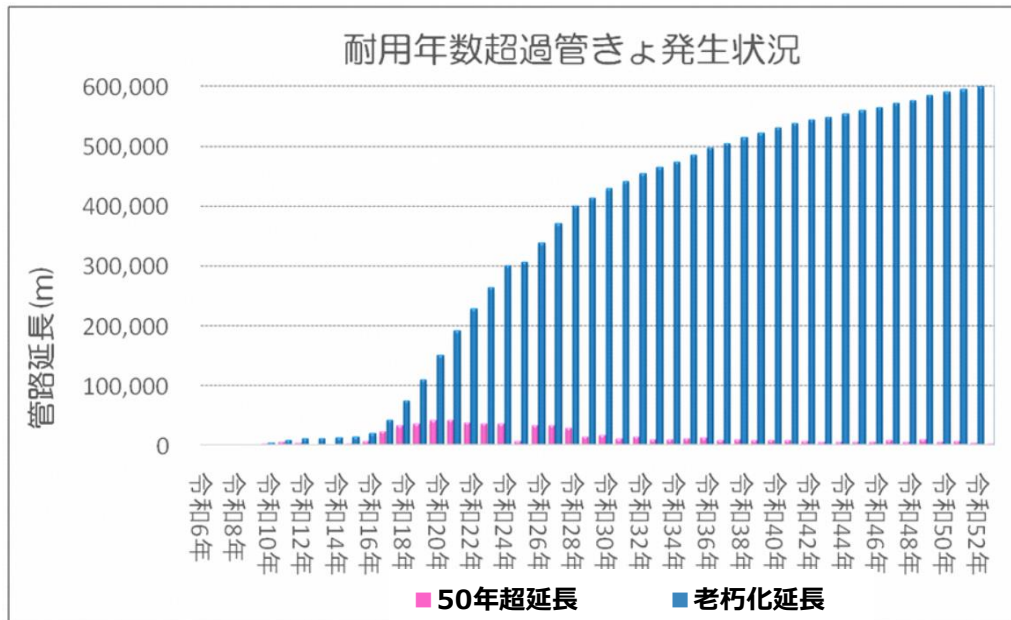
3

春日部市における上下水道事業の現状と課題

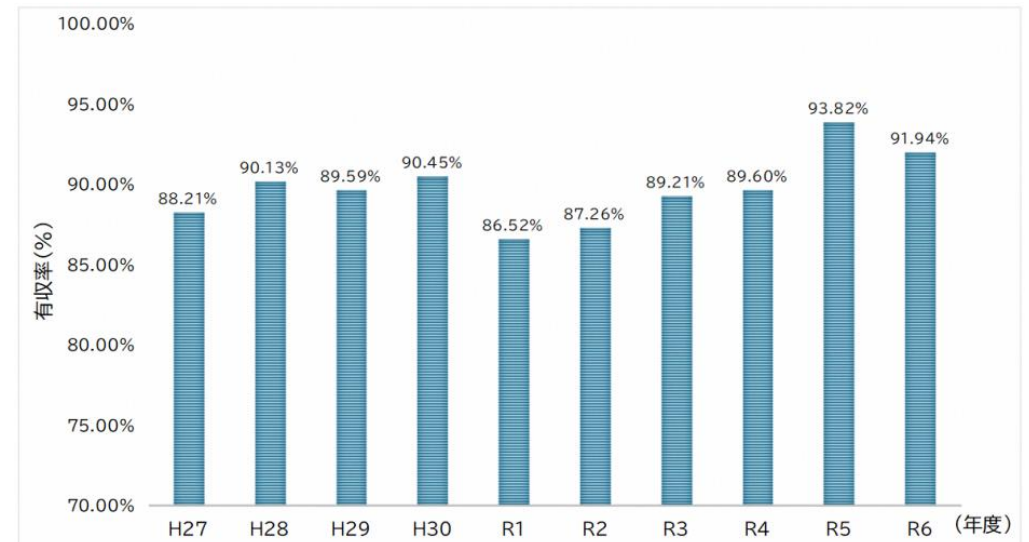
○ 春日部市の下水道施設概要（污水管路）

- 污水管路の総延長は、令和6年度（2024年度）末時点で約604kmとなっている。
- 污水の管路について、一部の管路は敷設から50年が経過し、今後急激に耐用年数を迎える施設が増加するため、ストックマネジメント計画に基づき計画的な点検や更新を実施する必要がある。
- 耐震化率は約17%であり、計画的に実施する必要がある。

耐用年数超過管渠発生状況



有収率の推移



3

春日部市における上下水道事業の現状と課題

○ 春日部市の下水道施設概要（雨水管路）

- 雨水管渠が55.4km敷設されている。
- 雨水の管渠について、一部の管路は耐用年数50年を経過しているが、経過年数が40年以下のものがほとんどである。

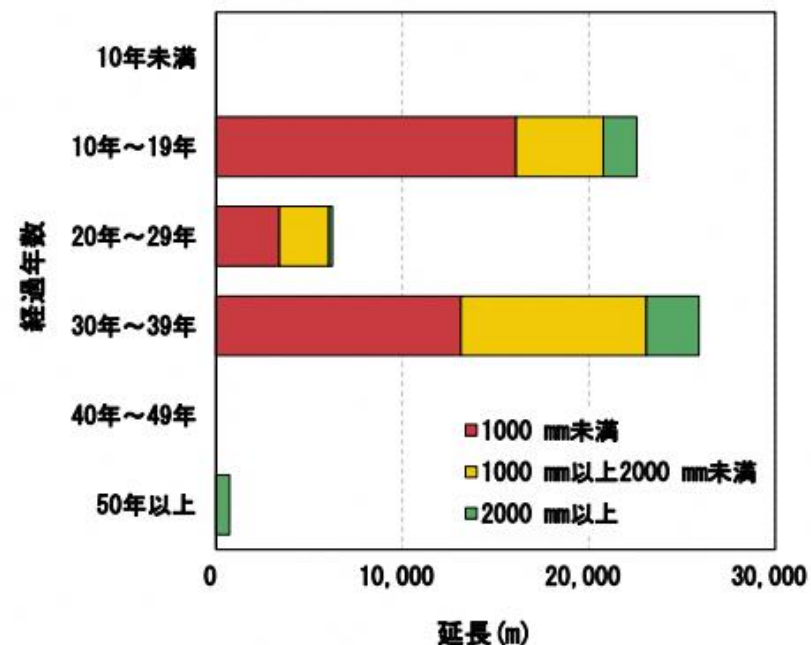
管径別管渠布設延長

「令和3年現在」

(単位: m)

経過年数	竣工年度	1000 mm未満	1000 mm以上 2000 mm未満	2000 mm以上	合計	割合
10年未満	2011年～ 2020年	0	0	0	0	0.0%
10年～19年	2001年～ 2010年	16,076	4,699	1,796	22,571	40.7%
20年～29年	1991年～ 2000年	3,390	2,648	197	6,235	11.2%
30年～39年	1981年～ 1990年	13,114	9,969	2,837	25,920	46.8%
40年～49年	1971年～ 1980年	0	0	0	0	0.0%
50年以上	1970年 以前	0	0	698	698	1.3%
合計		32,580	17,316	5,528	55,424	100.0%

管渠布設経過年数



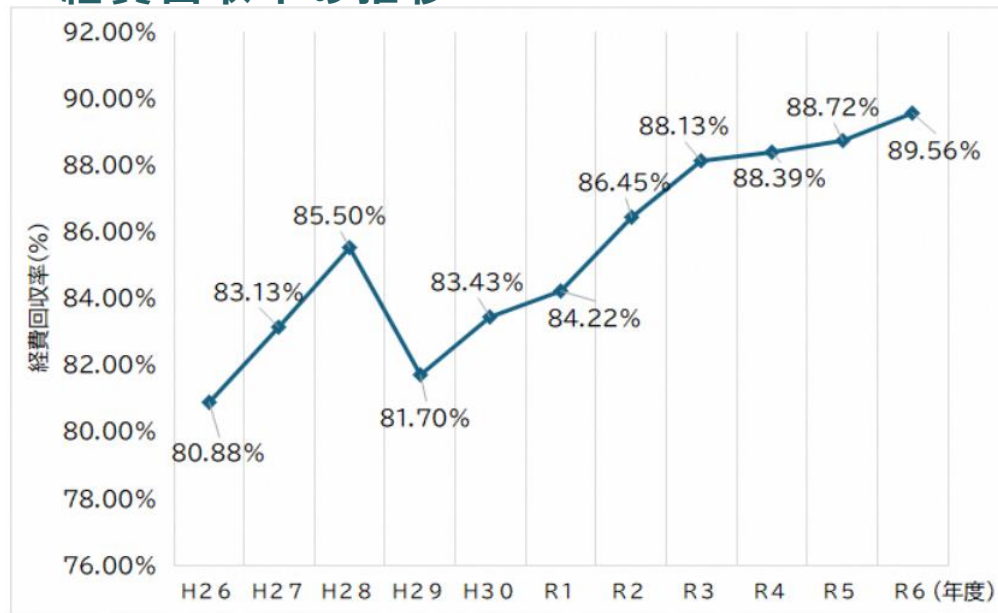
3

春日部市における上下水道事業の現状と課題

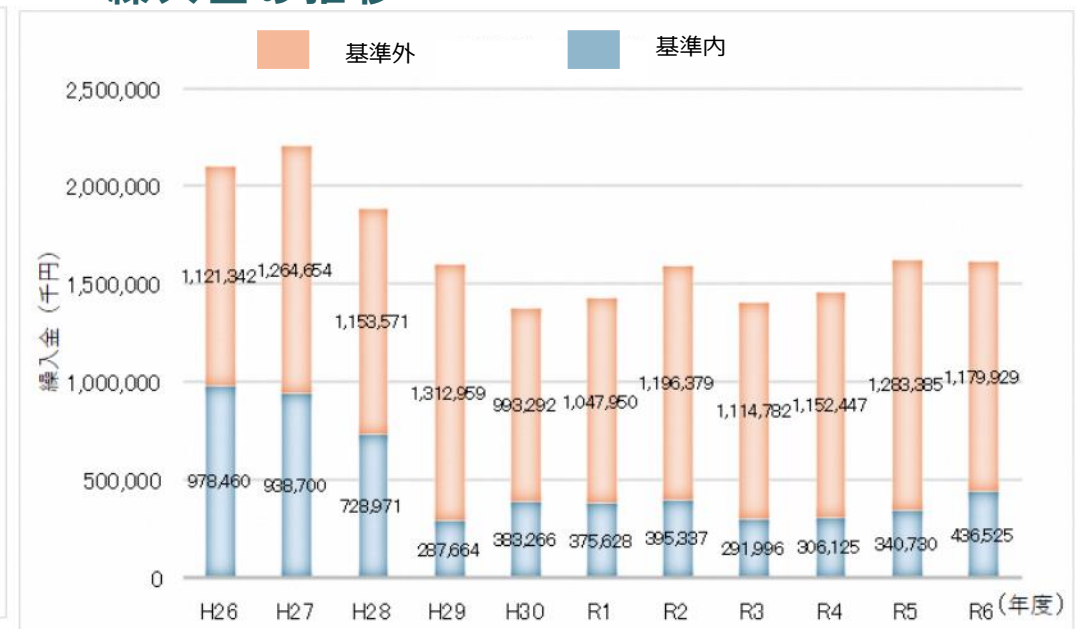
○ 春日部市の下水道事業の経営状況

- 経費回収率は令和6年度時点で89.56%となっており、使用料収入で回収すべき経費を賄えていない。
- 平成30年度以降、基準外繰入金は高止まり傾向にある。
- 老朽化による改修・更新の投資負担増大においても安定した事業継続が可能となるよう収益性の改善が求められている。
- 令和8年10月1日より下水道使用料改定の予定。

経費回収率の推移



繰入金の推移



目次

1

本説明会の趣旨

2

「水の官民連携」の概要

3

春日部市における上下水道事業の現状と課題

4

事業スキーム（案）の説明

5

今後の進め方

6

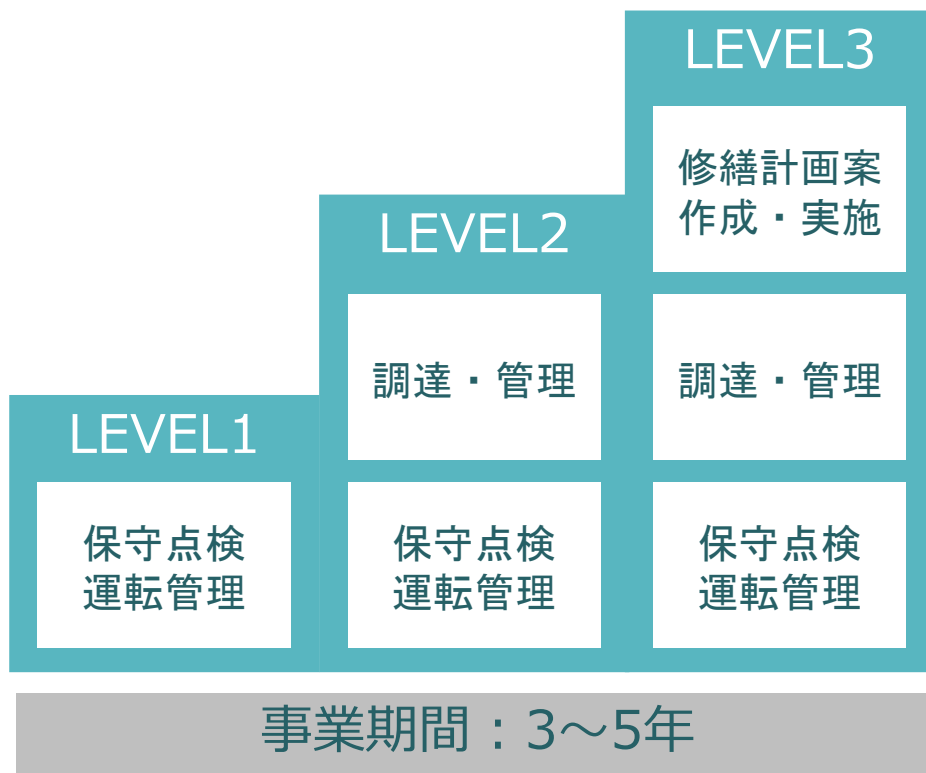
アンケート調査へのご協力をお願い

4

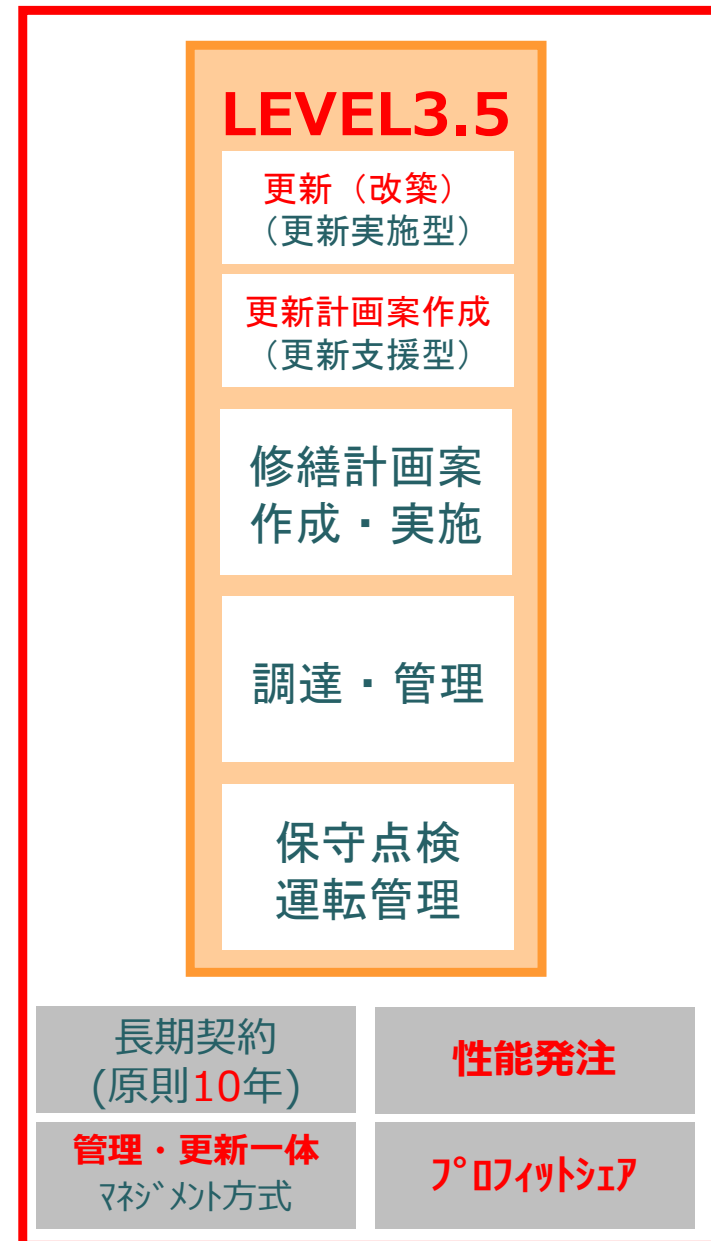
事業スキーム（案）の説明

○ 水の官民連携とは（再掲）

官民が協力して上下水道を守る、
新たな官民連携の形態



従来の包括的民間委託



「水の官民連携」

4 事業スキーム（案）の説明

○ 対象施設・対象業務の範囲（案）

■ 対象施設

水道：管路、浄水場

下水道：汚水管路、マンホールポンプ、汚水中継ポンプ場、雨水管路、雨水ポンプ場

※雨水管路・雨水ポンプ場は災害時、民間のリスクが高くなることから、雨水管路・雨水ポンプ場を除いたケースも検討する。

■ 検討方式

更新支援型、更新実施型、更新支援・実施のMIX **3パターン**

※更新支援・実施のMIXは、管路施設を更新支援、その他施設を更新実施として検討する。

検討ケース

No.	対象施設						
	水道		下水道（污水）			下水道（雨水）	
	浄水場	管路	汚水管路	MP	汚水中継ポンプ場	雨水管路	雨水ポンプ場
1	○	○	○	○	○	○	○
2	○	○	○	○	○		

2パターン

■ 検討ケース数

（ケース数）2パターン × （検討方式）3パターン = **6パターン**

4 事業スキーム（案）の説明

○ 簡易VFMの算定

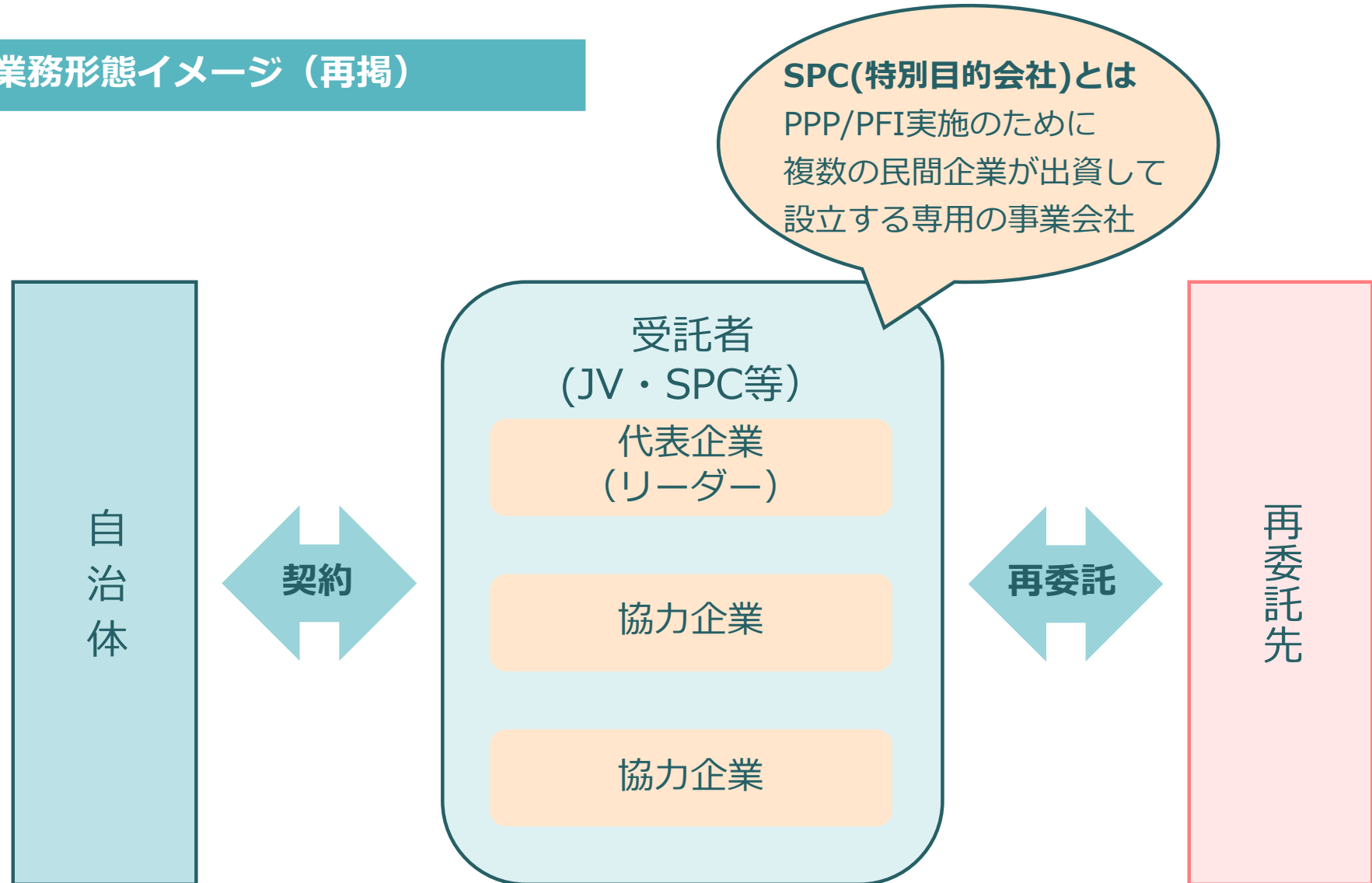
- 水の官民連携による事業運営と、従来型の発注手法による事業運営とを比較して、財政効果があるのかを、簡易にVFM（Value For Money）の算出を行います。

No.	方式	対象施設							VFM
		水道		下水道（污水）			下水道（雨水）		%
		浄水場	管路	污水 管路	MP	汚水中継 ポンプ	雨水 管路	雨水 ポンプ	
1	全て 更新実施	○	○	○	○	○	○	○	7.3%
2	全て 更新実施	○	○	○	○	○			7.3%
3	全て 更新支援	○	○	○	○	○	○	○	4.7%
4	全て 更新支援	○	○	○	○	○			4.5%
5	管路：更新支援 その他：更新実施	○	○	○	○	○	○	○	6.0%
6	管路：更新支援 その他：更新実施	○	○	○	○	○			6.0%

- 雨水管路・ポンプ場を除いた場合と含めた場合とではほぼ変わらない値となりました。

4 事業スキーム（案）の説明

○ 業務形態イメージ（再掲）



目次

1

本説明会の趣旨

2

「水の官民連携」の概要

3

春日部市における上下水道事業の現状と課題

4

事業スキーム（案）の説明

5

今後の進め方

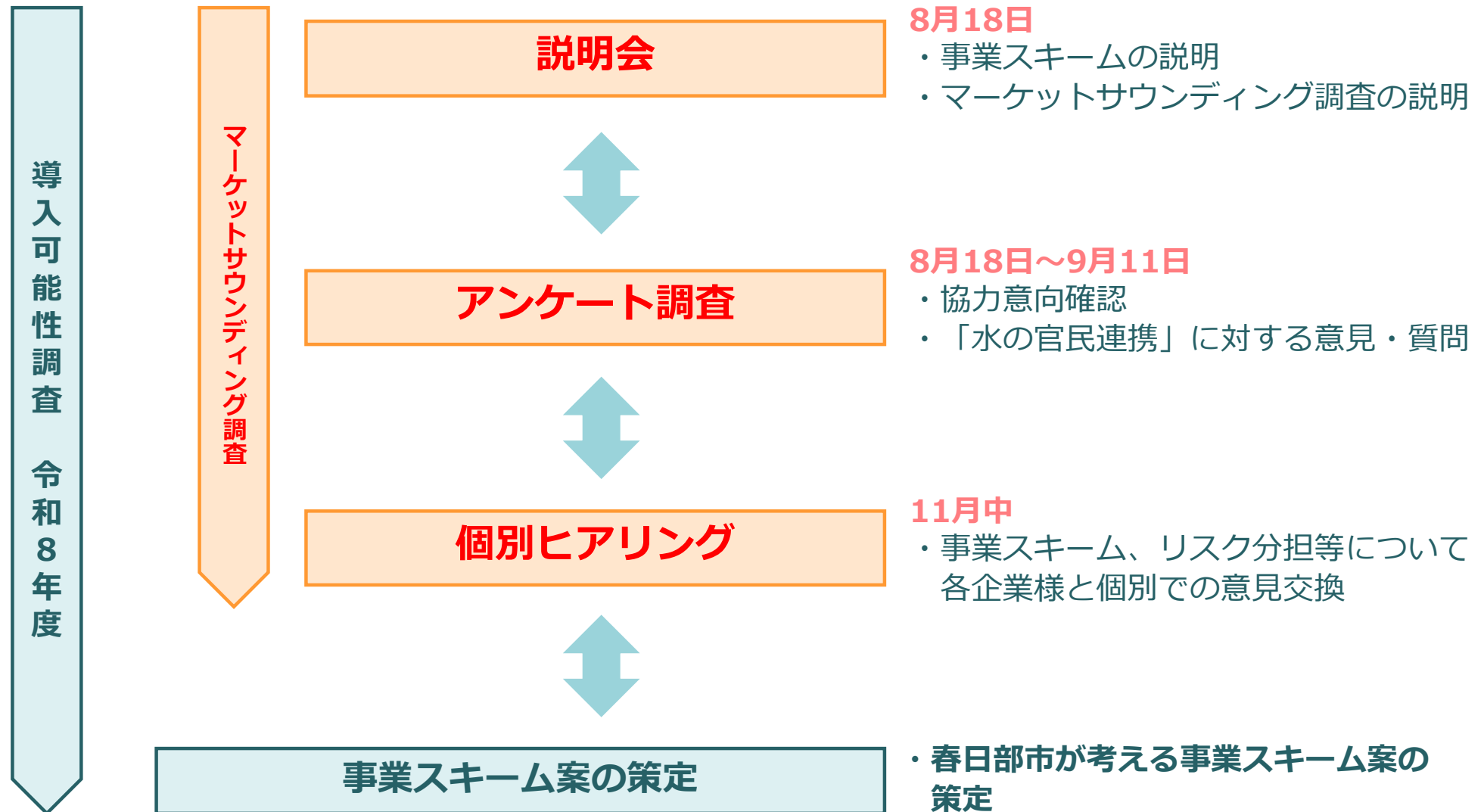
6

アンケート調査へのご協力をお願い

5

今後の進め方

○ スケジュール



目次

1

本説明会の趣旨

2

「水の官民連携」の概要

3

春日部市における上下水道事業の現状と課題

4

事業スキーム（案）の説明

5

今後の進め方

6

アンケート調査へのご協力をお願い

6

アンケート調査へのご協力をお願い

○ アンケートのご依頼

- 本市の上下水道事業において、「水の官民連携」の導入可能性調査にあたり、「水の官民連携」の概要をご理解いただくと共に、民間企業のみなさまからご意見をいただきながら、最適な事業実施体制を検討してまいります。
つきましては、マーケットサウンディング調査へのご協力をお願いいたします。

【アンケート】

受付期間：令和8年8月18日(火)～令和8年9月11日

※アンケート票は、市公式ホームページからダウンロードが可能です。
(令和8年8月18日(火)に掲載します)

■ お問い合わせ先 ■

〒344-8577

春日部市中央七丁目2番地1 第2庁舎1階

上下水道部 工務課 工務担当

TEL：048-739-6824